

二〇二〇年度国際交流事業 O E J A B 学生派遣 六名の学生が個性豊かにそれぞれの抱負を 来年の派遣に向けて期待と意気込みにあふれて

夢への一步

東京医科歯科大学医学部
医学科四年 龍 舞香

この度O E J A B 派遣学生となりまして東京医科歯科大学医学部医学科四年の龍舞香と申します。

私は健康格差の縮小を自身の使命に掲げ、将来は医療アクセス一〇〇%の世界を実現することを夢としています。

かねてより貧困問題に興味のあった私はホームレス支援のボランティアや貧困層の子供対象の無料こども塾、児童相談所への訪問などの活動を行なってきました。旅行の際も意識的にスラム街を訪れ、幼い子供達が生きるために道端のゴミを拾う光景を目の当たりにしてきました。家族がいて、家もあり、学校にも行かれて、食べ物もある。そのような自身の生活と、そうではない人たちの生活について真剣に考え、運よく今の生活を手に入れている自分が、そのような人々を助ける役目を担う必要があるのではないかと考えるようになりました。

その時以降、「健康格差の縮小」が将来医師となる私の夢です。

この夢を叶えるべく、医療提供、研究活動を通じた病態解明・新規治療法創出、そして健康の社会的決定要因の除去のための医療シス

テムの改革など、使命達成のための様々な方法を模索し、自身が最も効果的に社会に貢献できるキャリアモデルを求め、入学後ずっと、常に積極的に挑戦してきました。

また、大学入学時より国際保健問題の解決を目指すグローバルリーダー育成選抜プログラムに参加し、国内外の医療問題について学び、議論を重ねることで、問題解決能力を高めるとともに、医学問題を俯瞰的に捉えるための周辺学問知識および視点拡大を図り、またリーダーに必要な様々なソフトスキルの獲得やネットワーク形成に努めています。しかし上記の様な夢を持ち、自ら活動していてもなお、世界中の本当に困っている人たちの存在は、私たち日本人学生にとって遠い存在であり具体的なイメージを持つことが難しいというのが実情です。このオーストリアへの派遣は、難

民生活を送っている人々と対等に交流し、国際機関で世界を俯瞰して働く方々と直接お話しすることで、自身の夢を具体的なイメージを持つて語れるようになると同時に、世界を相手に働く意義と魅力を真に見出せる

と確信しています。帰国後は、世界平和を真に願い共に志す仲間が一人でも増えるよう、ここで得た経験を積極的に発信していきたいと思っています。

また、私がO E J A B 派遣学生を志願したもう一つの理由は、自分とは全く異なる背景の人々との出会いが得られることです。志高いO E J A B 派遣学生との出会いはもちろん、事前研修でお会いできる友愛理事の方々、お世話になる事務局の方々、派遣先の方々など、医学部にはは交わることのないコミュニケーションへの参加ができることを大変嬉しく思っています。

これは私にとって他分野・他文化への理解を深め、興味と視野を広げるきっかけになると同時に、私が専門とする医療分野について理解を深めてもらえるきっかけになると考えています。

将来的には、ここでの縁を生かし、国内外の医療水準や人々の健康の向上のために、行政、教育、企業などと医療の架け橋になりたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。

この度、O E J A B 派遣プログラムに選ばれて頂きありがとうございます。東北大学理学部地球科学系二年の館宏輔と申します。

大学では現在教養過程ですが、将来は地政学という学問分野を専攻し、移民難民問題を始めとする諸問題を科学的視点から解決したいと考えております。

地政学とは、国の地理的・政治的影響をグローバルな視点で考察する学問です。

現在、難民問題はテレビや新聞、教科書など様々に取り上げられ、日常的に目にする場面が増えてきました。それゆえ、問題の原因や世界各国の責任について考えさせられる機会も必然に増え、私たちがその国際的問題にどのように関わっていくか考えることが重要になっていきます。

日常生活において、移民難民問題が顕在化している国に実際に出向き、地理的状況を肌で感じ、それらの諸問題に関する話を現地の方に伺うことは、国際社会に貢献するために必要不可欠です。

特に今回渡航する予定であるオーストリアは、ヨーロッパの中でも豊富な数の移民を有し、アフリカからの難民を多く受け入れる移民国家であります。この度、このような世界の問題解決に携わるための経験を積める最良の場所であり、貴重な機会を与えていただけることを大変光栄に感じております。

また私は昨年度にカナダへの短期留学の経験があります。カナダは、面積が広くアメリカのみとしか接していないという地理的特徴があり、国土が広大であるのにも関わらず、難民政策が充実し安定した移民大国でした。

一方、オーストリアは国土が狭く多くの国と隣接し、カナダとは対照的な地理的条件を有しています。その対照的な条件の中で、オーストリアはどのような政策を取り問題解決をしているのか知り、そして、それらは同じ移民大国であるカナダの場合とどのような違いがあるのか、カナダ留学の経験を有機的に織り込むことで本質的な結論が出せると期待しております。

本プログラムにおいて、オーストリアの抱える問題を把握するという表面的な理解にとどまらずに、オーストリアの本当の姿をのぞくことができる今回の渡航研修に非常に価値を見出し

ております。

今回の渡航研修には国連の事務局を訪れる機会が設けられております。国連の主要機関において、分刻みの多忙なスケジュールで世界の諸問題に立ち向かう姿を経験することで、世界の問題解決に携わることの魅力を一層感じ取れると考えております。

国連事務局訪問の場面のみならず、この渡航研修全体を通して今後世界の諸問題を解決できる人材となるために必要となるものが気付かされるはずで

す。それは、諸問題に対する判断力や原因を探る洞察力、全体を動かす統率力など様々な存在すると思

います。今の自分に足りないものを身近に感じとり、地政学の研究者として世界の諸問題を科学的アプローチから解決できる能力を吸収していきたいです。

最後に、本プログラムの中では、多くの様々な人との出会いに感謝したいです。

実際の渡航期間は一〇日間という短い期間ですが、その渡航には多くの方の支援やご協力があった実現するものです。多くの方の支援がなければ今回の機会とは与えていただけなかったことであり、様々な方の苦労が裏方にあります。この一〇日間の渡航においては一日一日を大切にすることはもちろんですが、その渡航に至るまでの多くの方との出会いも大切に、使命感を持ってこの活動に取り組んでいきたいと思

います。

一つ目は、これまで訪れたことのないEU加盟国に

二つ目は、オーストリアや国際機関のジェンダーの実態を学ぶことです。現在、ルワンダにおける男女平等の実態について卒業論文を執筆しています。同国はジェンダーギャップ指数で好成績を収めているものの、実際の生活では男女平等を感じる機会が少なく、データと実態の乖離に問題意識を抱きました。オーストリアは昨年初めての女性首相が誕生し、女性の活躍が進んでいると知られる国です。訪問地の見学を通じてオーストリアの女性の活躍、また国際機関での女性の活躍の実態を学び新たな知識を得るとともに、積極的に発言することで派遣学生や現地

で交流する人々

と

貴重な体験を頂けることに感謝して

東北大学理学部地球科学系二年 館 宏輔

この度、O E J A B 派遣プログラムに選ばれて頂きありがとうございます。東北大学理学部地球科学系二年の館宏輔と申します。

大学では現在教養過程ですが、将来は地政学という学問分野を専攻し、移民難民問題を始めとする諸問題を科学的視点から解決したいと考えております。

地政学とは、国の地理的・政治的影響をグローバルな視点で考察する学問です。

現在、難民問題はテレビや新聞、教科書など様々に取り上げられ、日常的に目にする場面が増えてきました。それゆえ、問題の原因や世界各国の責任について考えさせられる機会も必然に増え、私たちがその国際的問題にどのように関わっていくか考えることが重要になっていきます。

日常生活において、移民難民問題が顕在化している国に実際に出向き、地理的状況を肌で感じ、それらの諸問題に関する話を現地の方に伺うことは、国際社会に貢献するために必要不可欠です。

特に今回渡航する予定であるオーストリアは、ヨーロッパの中でも豊富な数の移民を有し、アフリカからの難民を多く受け入れる移民国家であります。この度、このような世界の問題解決に携わるための経験を積める最良の場所であり、貴重な機会を与えていただけることを大変光栄に感じております。

また私は昨年度にカナダへの短期留学の経験があります。カナダは、面積が広くアメリカのみとしか接していないという地理的特徴があり、国土が広大であるのにも関わらず、難民政策が充実し安定した移民大国でした。

一方、オーストリアは国土が狭く多くの国と隣接し、カナダとは対照的な地理的条件を有しています。その対照的な条件の中で、オーストリアはどのような政策を取り問題解決をしているのか知り、そして、それらは同じ移民大国であるカナダの場合とどのような違いがあるのか、カナダ留学の経験を有機的に織り込むことで本質的な結論が出せると期待しております。

本プログラムにおいて、オーストリアの抱える問題を把握するという表面的な理解にとどまらずに、オーストリアの本当の姿をのぞくことができる今回の渡航研修に非常に価値を見出し

ております。

今回の渡航研修には国連の事務局を訪れる機会が設けられております。国連の主要機関において、分刻みの多忙なスケジュールで世界の諸問題に立ち向かう姿を経験することで、世界の問題解決に携わることの魅力を一層感じ取れると考えております。

国連事務局訪問の場面のみならず、この渡航研修全体を通して今後世界の諸問題を解決できる人材となるために必要となるものが気付かされるはずで

す。それは、諸問題に対する判断力や原因を探る洞察力、全体を動かす統率力など様々な存在すると思

います。今の自分に足りないものを身近に感じとり、地政学の研究者として世界の諸問題を科学的アプローチから解決できる能力を吸収していきたいです。

最後に、本プログラムの中では、多くの様々な人との出会いに感謝したいです。

実際の渡航期間は一〇日間という短い期間ですが、その渡航には多くの方の支援やご協力があった実現するものです。多くの方の支援がなければ今回の機会とは与えていただけなかったことであり、様々な方の苦労が裏方にあります。この一〇日間の渡航においては一日一日を大切にすることはもちろんですが、その渡航に至るまでの多くの方との出会いも大切に、使命感を持ってこの活動に取り組んでいきたいと思

います。

一つ目は、これまで訪れたことのないEU加盟国に

二つ目は、オーストリアや国際機関のジェンダーの実態を学ぶことです。現在、ルワンダにおける男女平等の実態について卒業論文を執筆しています。同国はジェンダーギャップ指数で好成績を収めているものの、実際の生活では男女平等を感じる機会が少なく、データと実態の乖離に問題意識を抱きました。オーストリアは昨年初めての女性首相が誕生し、女性の活躍が進んでいると知られる国です。訪問地の見学を通じてオーストリアの女性の活躍、また国際機関での女性の活躍の実態を学び新たな知識を得るとともに、積極的に発言することで派遣学生や現地

で交流する人々

と

と

と



館 宏輔さん

ストリアの本当の姿をのぞくことができる今回の渡航研修に非常に価値を見出し

ております。

今回の渡航研修には国連の事務局を訪れる機会が設けられております。国連の主要機関において、分刻みの多忙なスケジュールで世界の諸問題に立ち向かう姿を経験することで、世界の問題解決に携わることの魅力を一層感じ取れると考えております。

国連事務局訪問の場面のみならず、この渡航研修全体を通して今後世界の諸問題を解決できる人材となるために必要となるものが気付かされるはずで

す。それは、諸問題に対する判断力や原因を探る洞察力、全体を動かす統率力など様々な存在すると思

います。今の自分に足りないものを身近に感じとり、地政学の研究者として世界の諸問題を科学的アプローチから解決できる能力を吸収していきたいです。

最後に、本プログラムの中では、多くの様々な人との出会いに感謝したいです。

実際の渡航期間は一〇日間という短い期間ですが、その渡航には多くの方の支援やご協力があった実現するものです。多くの方の支援がなければ今回の機会とは与えていただけなかったことであり、様々な方の苦労が裏方にあります。この一〇日間の渡航においては一日一日を大切にすることはもちろんですが、その渡航に至るまでの多くの方との出会いも大切に、使命感を持ってこの活動に取り組んでいきたいと思

います。

一つ目は、これまで訪れたことのないEU加盟国に

二つ目は、オーストリアや国際機関のジェンダーの実態を学ぶことです。現在、ルワンダにおける男女平等の実態について卒業論文を執筆しています。同国はジェンダーギャップ指数で好成績を収めているものの、実際の生活では男女平等を感じる機会が少なく、データと実態の乖離に問題意識を抱きました。オーストリアは昨年初めての女性首相が誕生し、女性の活躍が進んでいると知られる国です。訪問地の見学を通じてオーストリアの女性の活躍、また国際機関での女性の活躍の実態を学び新たな知識を得るとともに、積極的に発言することで派遣学生や現地

で交流する人々

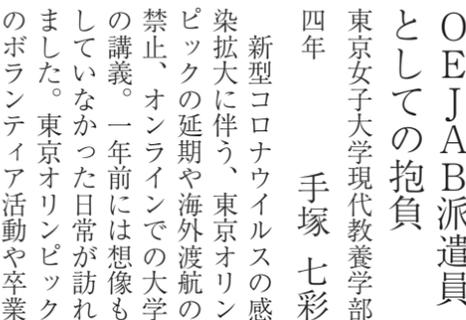
と

と

と

と

と



手塚 七彩さん

実際に足を運び、現地の人との交流を通じて経済の様子や歴史を肌で感じることで、インドやルワンダに滞在した際に、インターネットや本を通じて得た情報を基にした想像と実際の様子が大きく異なる経験をしました。「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、世の中に溢れる情報を鵜呑みにするだけでなく、実際に手足を動かして、自分の目で見ることや声で聴くことを大切にしたいです。

今回の派遣では特に、ヨーロッパとアフリカの繋がりに関して学びたいと考えています。日本と比較して、物理的に距離の近いEU加盟国の人々はアフリカとどのような繋がりを感じているのかをインタビュしたいです。派遣国であるオーストリアについて学ぶことに加え、このような新たな視点、私ならではの視点も交えながら活動していきたいです。

二つ目は、オーストリアや国際機関のジェンダーの実態を学ぶことです。現在、ルワンダにおける男女平等の実態について卒業論文を執筆しています。同国はジェンダーギャップ指数で好成績を収めているものの、実際の生活では男女平等を感じる機会が少なく、データと実態の乖離に問題意識を抱きました。オーストリアは昨年初めての女性首相が誕生し、女性の活躍が進んでいると知られる国です。訪問地の見学を通じてオーストリアの女性の活躍、また国際機関での女性の活躍の実態を学び新たな知識を得るとともに、積極的に発言することで派遣学生や現地

で交流する人々

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

ジェンダーについて考える機会を提供したいです。

これまでの当たり前が当たり前でなくなっている今だからこそ、多様な視点を大切だと感じます。オーストリア滞在中はもろろんのこと、滞在前後も、仲間や関係者の方々と意見を交わすことでより多様な視点を

R技術などを通して社会サービスを提供していく研究の最前線に就こうとしています。

この際、大学で専門知識を身に付けることは大いに重要ですが、それを社会貢献へと発展させるには同時にその研究成果が発揮される現実にある社会問題を直視する必要があります。本派遣では勤労青年連盟が支援する難民救済事業や老人ホームを訪問し人々と交流

最後に、オーストリアは音楽の都と言われるウィーンを有し、『サウンドオブミュージック』の舞台になるなど音楽の側面もまた有名です。私は幼少期からピアノに親しみ、現在はピアノの歴史の変遷、時代による

私の夢は、環境問題や人権等の公共政策分野で国家間の協調関係を築くと共に、多様性に寛容な日本社会を創造することです。これまでの大学生活では、国際社会における日本の立場を客観的に見つめ直し、世界が抱える諸問題の解決に向けたアプローチの方法を

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

ここまでは、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

状況を打破し、苦難を乗り越えた先にある国際交流は、これまで以上に深い遠な友愛の関係を築きあげたいと考えています。そのためコロナ禍に伴う生活様式の変化や、現地の人が感じた国勢の変化、医療の壁などについての意見交換はとて有意義なことであると思っています。さらに国際理解の輪を広げるためにも、今回の派遣を通して自身がグローバルな視野とローカルな視点を持つて現地の人々と情報交換、意見交流を行いたいと思っています。そしてオーストリアを深く知ることによって改めて日本を客観的に見ることもできるのではないかと期待しています。

異例尽くしのオーストリア派遣に向けて
東京大学教養学部二年 浦彩人

初めまして、浦彩人です。まずはこのような機会を与えてくださったことに多大なる感謝を申し上げます。

本派遣は日本をはじめとした多くの社会が抱える難民受け入れ問題、高齢化社会といった社会問題に実際に触れるチャンスだと私は考えています。私は今秋より晴れて機械情報工学科に進学し、ロボティクスやV

加えて、冬から世界中に新型コロナウイルスが広がるこの情勢において、本派遣は益々意義を持つと私は考えます。確かに感染リスクや状況によりオーストリア訪問が延期されたのは一見すると残念なことかもしれませんが、これは逆に「例年とは異なる環境、状況下でオーストリアの人々がどのように生き、どう考えるか」を体験できるという点で例年に無い価値を持つということでもあります。勤労青年連盟が関与する難民施設、や老人施設、国際機関はもちろんです、私たちが行く先々のあらゆる場所が、この感染症に無縁ではありません。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。



浦彩人さん

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。



田島桃子さん

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。



小倉佑太さん

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

この度は、貴重な機会を誠にありがとうございます。九州大学法学部三年、田島桃子と申します。

Books For All Children—すべての子どもたちに本を！ 攪上久子 (友愛会員・バリアフリー絵本研究者)

私は、「バリアフリー絵本」の、研究や開発の活動をしています。

日本は世界でも子どもの本の豊かな国で、日本の子どもたちは、豊かな本の環境の中で育ちます。

子どもの本は、子どもたちが自分の社会や文化に出会うものですし、未来を生きる子どもたちに、私たち大人からの贈り物であり、伝言であり、遺言であると思います。けれど何よりも、本は子どもには楽しみであり喜びをもたらすものです。その楽しみや喜びはすべての子どもたちが享受する権利があるものだと思います。しかし、その本を読み楽しむことにバリア(障壁)があると、そのバリアにはばまれ、その権利が享受できないでいる子どもたちが、世界にはまたこの日本にもたくさんいます。

本にバリアがあるという子どもたちとは、どんな子どもたちでしょうか。字や絵が見えない、見えにくい子どもたち。文字が読めない読みにくい子どもたち。本が持てなかったり、めくれなかったりする子どもたちもいます。それは必ずしも「障害」に限らずに、海外にルーツがある子どもたちのように、その文化や言語に対してバリアを持っている場合もあります。

私は2003年から、IBBY(国際児童図書評議会)(注1)が隔年で

Outstanding Book(傑出している良書)として選書する、障害がある子どもたちのための、あるいは障害を理解するための、世界の子どもの本を日本に紹介する展示会の実行委員長を務めています。この展示会「世界のバリアフリー児童図書展」では、本を楽しむための多様なバリアを超えるための様々な世界各国の取り組みを紹介しています。

新型コロナウイルス感染防止のために、今年の国内の巡回展は、中止や展示方法の変更などありますが、現在以下の日程で巡回展が予定されています。

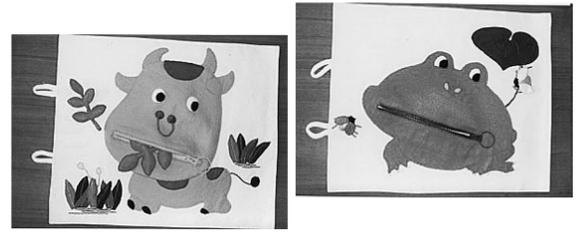
機関紙『友愛』読者の皆様にも機会があったら是非ご覧いただきたくご案内させていただきます。

注1 IBBY(国際児童図書評議会=International Board on Books for Young People)は、第二次世界大戦後の荒廃したドイツで、「子どもたちに食料だけでなく、心の栄養の本を！」と呼びかけたユダヤ人女性イエラ・レップマン(Lepman, Jella)の活動が元となり、1953年にスイスのチューリッヒで設立されました。

子どもと子どもの本に関わるすべての人たちをつなぐ非営利の世界的ネットワークで、現在世界100カ国が加盟しています。国境や文化の違いがもたらす戦争や差別を超えるもの、それは、本を通じての国際理解・異文化理解から人々が学び取っていくものだと考えています。質の高い本を、世界中の子どもたちに届けたいと活動しています。

2020年度世界のバリアフリー児童図書展巡回情報

- 9月13日(日)～25日(金) 名古屋市緑図書館 (愛知県)
- 10月27日(火)～11月8日(日) 静岡県立大学短期大学部 (静岡県)
- 11月14日(土)～29日(日) 群馬県太田市美術館/図書館 (群馬県)
- 12月16日(水)～25日(金) 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール (神奈川県)
- 2021年 1月13日(水)～24日(日) 愛荘町立愛知川びんてまりの館・愛知川図書館 (滋賀県)
- 2月24日(水)～3月6日(土) 板橋区立蓮根図書館 (東京都)
- 3月15日(月)～21日(日) 枚方市立中央図書館 (大阪府)



布で作られた絵本。色も鮮やか。ボタン、ファスナーなどを利用して、手で触って楽しめる工夫がされている

友愛ほんだな—速報『脱 大日本主義』中国にて刊行

二〇一七年に平凡社新書として発刊された『脱 大日本主義』が中国で刊行(中国語版)されることとなった。これを機に、読み直してみるのはいかがだろうか。人民日報九月二日ニュースより元日本首相・政治家鳩山由紀夫



中国で出版された『脱 大日本主義』

夫著『脱 大日本主義』が近日人民日報出版社より出版される。本書は日本社会の現状及び将来を深く掘り下げ、第一部では政治、軍事、経済、外交等の側面から明治維新以来日本が大国の夢を追いかけて来た歴史と



平凡社新書『脱 大日本主義』「成熟の時代」の国のかたち 鳩山由紀夫 著 発行：平凡社 価格：八〇〇円(税別)

現状を解き、これから日本の歩むべき道を検討すると同時に自身の「友愛」の理念にも言及している。(中略)、日本は中国と連携して東アジア共同体の設立をするべきであると説き、一帯一路構想を称賛している。本書の出版は日中関係を考える上で新たな視点を提供し、日本の将来を考える上や、合理的な対日政策の策定にとっては貴重な資料である。本書は作者の工夫で難しく専門性の高いテーマにもかかわらずとても読みやすく、国際政治や日中関係に興味がある読者には大変お勧めである。

本書はまた暖かみのある政治本でもある。この本を通して、読者は鳩山由紀夫作者本人に対して

しても理解が得られる。

彼は思慮深く、人情もある徳の高い、尊敬できる政治家である。彼の思想と理念は日中関係の改善及びアジアの平和に積極的な意味をもつ。日本の思想家内田樹は「この本は政治家の回顧録でも、論争するための文章でも、政党綱領の概説でもない。作者は終始冷静かつ中立に日本の政治について論じ、これまで主観を自制して書くのは中々大変なことで、名前を知らされずに読み進めたら、イギリスの政治学者による論文と言われても疑われないでしょう」とこの様な文章が書ける政治家は日本にはそうそういないであろう」と絶賛している。(訳/李慶遠)

*平凡社新書は、お近くの書店でお求めください。

『友愛』七月号「百花繚乱・想いを綴る」を読んで

香川県在住 友愛会員 池尻保彦

私の住んでいるところは、「うどん県」として有名な香川県高松市です。人口約四十三万人ほどが暮らす市内に、製めん所を含めて約百件のうどん屋さんがあり、各店でその味を競っています。

金毘羅さんとして信仰を集めている金刀比羅宮もあり、毎年観光客で賑わっていますが、今年はそのようなことはありません。

市内には、特別景勝地に指定され、ミシュランガイドでも一度は行ってみたい庭として推奨されている栗林公園があります。園内の池に舟を浮かべて、大名気分で日本庭園の美しさを楽しめます。

高松のご案内になってしまいました。私が高松に投稿したのは、別の目的です。

先日届いた『友愛』七月号「百花繚乱」を綴る」を読み、本に感動したので、そのことをお伝えしたく投稿致しました。

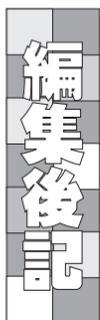
八名の方々の執筆は、読んでいて現在の世相及び友愛の精神を含みながら、一人ひとりの思いが読み手に解りやすく伝わってきます。そして今後、国民として何をすべきかを考えなければいけないか、日本にとどまることなのか、世界に目を向けての探求心を養うことの大切さを、教示してくれました。

また、国民一人ひとりが、自分の立場に立って、できることから始めて、いきましようと呼びかけている文章でもありました。心温まる『友愛』特集号を読ませていただき

き、本当に感謝申し上げます。コロナウイルスの第二波がとも心配です。終息を願っていますが、思い通りにならないのが「ウイルス」だと思います。皆様もくれぐれもご自愛ください。ようお願い申し上げます。

そして終息した暁には、是非「うどん県」においてください。四国に居る一会員として、友愛の皆様のおいでをお待ちしております。

もちろん、おいしいうどん屋を、ご案内させていただきます。



◆あつという間に九月になってしまいました。だのに今日も気温三〇℃を超える暑さ。いいかげんうんざりです。加えてマスク、熱中症にならないよう、細心の注意が必要。そんな中、台風の影響も。被災された方々の健康が心配です。

今朝、中国の友人から、今日は秋晴れのいい天気です。写真が送られて来ました。写真から爽やかな涼風が吹いてくるような錯覚を覚える程、青空に糸を引く白い雲が浮かんでいました。そう言えば今年も、中国に行っていません。中国からの訪問もありません。本日に、一日も早い新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。(も)